

2007年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(学部・研究留学生)

日本語 (B)

注意 ☆試験時間は60分。

☆答えは全て解答用紙に記入すること。

日本語 (B)

Nationality		No.		Marks
Name	(Please print full name, underlining family name)			

I 次の \_\_\_\_\_ に入るもっとも <sup>てきとう</sup> 適当なものを A～D の中から一つ <sup>えら</sup> 選びなさい。

(例) 昨日デパートで服とぼうし \_\_\_\_\_ 買いました。

A で                      B に                      C を                      D と

1 風邪 \_\_\_\_\_ 学校を休みました。

A から                      B で                      C を                      D に

2 バスや電車 <sup>でんしゃ</sup> が走っていないので、タクシーで行く \_\_\_\_\_ ない。

A だけ                      B さえ                      C しか                      D は

3 日本ではごはんを \_\_\_\_\_ とき「いただきます」と言います。

A たべる                      B たべて                      C たべた                      D たべない

4 あの先生の \_\_\_\_\_ 日本語が上手 <sup>じょうず</sup> になり、とてもうれしいです。

A うえて                      B おかげで                      C せいで                      D よって

5 来年、日本に留学 <sup>りゅうがく</sup> する \_\_\_\_\_ になりました。

A に                      B ものに                      C のに                      D ことに

6 今日は日曜日だから、銀行 <sup>ぎんこう</sup> は休みの \_\_\_\_\_ です。

A はず                      B わけ                      C こと                      D もの

7 田中さんが図書館で本を探 <sup>さが</sup> している \_\_\_\_\_、私はずっと外で待っていた。

A うち                      B うちに                      C あいだ                      D あいだに

- 8 春に\_\_\_\_\_寒い。まるで冬のようだ。  
 A しても B すれば C すると D しては
- 9 子供のとき、この公園でよくサッカーをした\_\_\_\_\_。  
 A つもりだ B ものだ C ところだ D ことだ
- 10 行きたくないけれど、大切な友だちにたのまれたので\_\_\_\_\_。  
 A 行きたくてたまらない B 行くとはかぎらない  
 C 行かざるをえない D 行くものではない

II 次の ( ) に入るもっとも<sup>てきとう</sup>適当なものをA~Dの中から一つ<sup>えら</sup>選びなさい。

(例) 毎日バスと電車で学校へ ( ) 。

- A いきます B はいります C はしります D あがります

1 <sup>きのう</sup>昨日、私は<sup>えいが</sup>映画を ( ) 見た。

- A 3枚 B 3本 C 3名 D 3台

2 タンさんは<sup>さいきん</sup>最近、<sup>じゅぎょう</sup>授業を休み ( ) だ。

- A がち B つばい C たて D め

3 田中さんはとうとう頭に ( ) ようだ。<sup>おこ</sup>怒って帰ってしまった。

- A たった B きれた C のぼった D きた

4 この辞書は漢字の書き方を<sup>しら</sup>調べるときに<sup>やく</sup>役に ( ) 。

- A なります B たちます C みます D します

5 これは私が<sup>つく</sup>作ったおかしです。どうぞ ( ) ください。

- A めしあがって B いただいて  
 C おっしゃって D いらっしゃって

6 日本は、私が ( ) していたとおりの国でした。

- A <sup>しそう</sup>思想 B <sup>かんそう</sup>感想 C <sup>そうぞう</sup>想像 D <sup>しこう</sup>思考

- 7 空が急に暗くなってきたと思ったら、( )はげしい雨が降りだした。  
A たちまち B さっさと C せいぜい D いかにも
- 8 飛行機は速くて便利だ。( )もっとも安全な乗り物だと言われている。  
A そのため B そのうえ C そうすると D それでも
- 9 すみません、( )今わかる人がいませので、あとで聞きに来てください。  
A あいにく B さいわい C かつて D むろん
- 10 長い間日本語を勉強していなかったので、漢字や文法を( )忘れてしまった。  
A すっかり B たっぷり C はっきり D ゆったり
- 11 あの店はとても( )がいいので、よくそこで買い物をします。  
A サービス B セーブ C セーバー D サーバス
- 12 高い山にのぼると、空気がうすくなるので、息が( )なる。  
A おとなしく B やかましく C おそろしく D くるしく
- 13 それは少し( )表現ですから、親しい友だちと話すときには使いません。  
A かたい B しかくい C かるい D たかい
- 14 氷は( )、やがて水になります。  
A たどって B そめて C とがって D とけて
- 15 彼女は泣かなかった。きっと一生懸命に感情を( )いたのだろう。  
A おさえて B ふんで C おして D とめて

Ⅲ 次の会話文の \_\_\_\_\_ に入るもっとも <sup>てきとう</sup> 適当なものを A～D の中から一つ <sup>えら</sup> 選びなさい。

(例) 「すみません、ボールペンをかしていただけますか。」

「\_\_\_\_\_。」

- A はい、そうです                      B はい、どうぞ  
C はい、どうも                        D いいですね

1 「どうしたんですか。元気がないですね。」

「実は昨日電車の中にかばんを <sup>わす</sup> 忘れてしまったんです。」

「\_\_\_\_\_。」

- A <sup>ざんねん</sup> 残念ですね                      B <sup>だいじ</sup> お大事に  
C それは <sup>たいへん</sup> 大変でしたね            D <sup>もう</sup> <sup>わけ</sup> 申し訳ありません。

2 「あしたいっしょに <sup>えいが</sup> 映画を見に行きませんか。」

「いいですね。」

「\_\_\_\_\_ 10時に <sup>えき</sup> 駅で会いましょう。」

- A それに                                  B それから  
C そして                                  D それでは

3 「いらっしやいませ。ご注文は <sup>ちゅうもん</sup> おきまりですか。」

「サンドイッチとコーヒー、\_\_\_\_\_。」

- A どうですか                              B <sup>ねが</sup> お願いします  
C 食べます                                  D ほしいです

4 「ちょっと手伝ってくれるかな。」

「ごめん。今いそがしいんだ。」

「すぐに終わるから。」

「\_\_\_\_\_。」

- A つまらないなあ                        B よろしく <sup>ねが</sup> お願いします  
C <sup>しかた</sup> 仕方ないなあ                        D よろこんで

5 「昨日の夜、地震がありましたね。」

「えっ、本当ですか。\_\_\_\_\_。」

A とても大きかったですね。

B びっくりして、ずっと起きていました。

C 寝ていたので、わかりませんでした。

D 部屋の中にいたので、だいじょうぶでした。

IV 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

私たちのまわりには、物と物をくっつける接着剤がいろいろなところで使われています。そのくっつく仕組みはどうなっているのでしょうか。紙と紙をくっつけるときによく使われるデンプンのりを例に見ていきましょう。

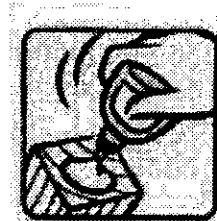
デンプンのりは、米や麦などにふくまれるデンプン質をねばり気のあるのりにして物と物を接着させています。まず、紙にデンプンのりを薄くのばしてぬり、別の紙を重ねて、その上を手でおしつけます。この接着の始めには、デンプンのりに含まれている水分が紙にしみこんでいきます。手でおすと、さらによくしみこみます。また、少しの水分は蒸発して乾いていきます。

紙の表面をよく見るとツルツルではなく、細かく  になっています。このすき間に、デンプンのりが水分とともに入りこみます。水分が出ていったデンプンのりはデンプンのノウドを高くしながら、紙に近づいていきます。このとき、紙とデンプンの距離が1cmの1億分の3～5になると、お互いが結合しようという状態になります。これは相性のよい物質がもともと持っている能力で、接着剤と接着される物が決まった距離まで近づくと起こります。

時間がたつと、デンプンのりの水分はさらに紙の表面から蒸発したり紙へしみこんで乾燥していきます。するとデンプン同士も強かに引きつけあって固まります。このとき、紙の細かいすき間へ入りこんだまま固まったデンプンが紙を引っかけて  します。これで接着が完了します。これは、船を泊めておくときに使うイカリに似ていることから、アンカー効果と言われています。

このように、接着剤とゼイリョウの間の距離が縮まることとアンカー効果の2つが物と物をくっつける大きな原因と考えられています。

アイスクリームを食べると、くちびるにアイスクリームがくっつくことがあります。体温でアイスクリームの表面が少し溶けて水分をたっぷりふくんだ液体となり、くちびるのすき間に入りこみます。それがアイスクリームの冷たさですぐまた固まってしまい、くっついてしまっているのです。これは<sup>せっちゃく</sup>接着の<sup>し</sup>仕組みと同じなのです。



問い1 文中の<sup>①</sup>蒸発、<sup>②</sup>細かく、<sup>③</sup>固まりの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

問い2 文中の<sup>(a)</sup>ノウド、<sup>(b)</sup>ザイリヨウをそれぞれ漢字で書くとどうなりますか。<sup>てきとう</sup>適当なものをA～Dから一つ選びなさい。

<sup>(a)</sup> ノウド	A 農度	B 濃度	C 膿度	D 儂度
<sup>(b)</sup> ザイリヨウ	A 材料	B 村料	C 材料	D 村科

問い3 文中の  に入るもっとも<sup>てきとう</sup>適当なことばを次のA～Dから一つ<sup>えら</sup>選びなさい。

A サラサラ    B カチカチ    C ピカピカ    D デコボコ

問い4 文中の  に入るもっとも<sup>てきとう</sup>適当なことばを次のA～Dから一つ<sup>えら</sup>選びなさい。

A <sup>はな</sup>離れにくく                      B 溶けにくく  
C くっつきにくく                      D 入りにくく

問い5 次のA～Dの中から、物と物がくっつく<sup>しく</sup>仕組みとして<sup>ぶんしょう</sup>文章の中で書かれていることと<sup>かんけい</sup>関係がないものを一つ<sup>えら</sup>選びなさい。

A のり (<sup>せっちゃくざい</sup>接着剤) の中に水分がふくまれていること。  
B 物の表面に細かいすき間があること。  
C 物と物の<sup>きょり</sup>距離が近づくこと。  
D のり (<sup>せっちゃくざい</sup>接着剤) の温度。

問い6 次のそれぞれの文を読んで、文章の内容と合っているものには○、合っていないものには×を書きなさい。

(例) 接着剤は、物と物をくっつけるときに使う。

- (1) 紙にデンプンのりをぬると、デンプン質が紙の中にしみこんでいく。
- (2) 二つの物の距離が1cmの1億分の3~5になると、どんなものでもくっつく。
- (3) 水分が蒸発すると、デンプンのりと紙の距離が近くなる。
- (4) 相性がよい物質同士は、もともとくっつくようとする能力を持っている。
- (5) 物と物の距離が近づくことをアンカー効果という。
- (6) アイスクリームがくちびるにくっつくためには水分が必要である。

V 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

仲間というものは、べつに血がつながっているわけではない。親子や兄弟姉妹のような血縁関係のある身内とは異なる集団である。

仲間と身内とどちらがたいせつだろうか。そんなことをたずねられると、たいてい人は返事に困ってしまう。いうまでもなく、この二つはどちらもたいせつなのである。なかにはずっとひとりである方がいいと言う人もいるかもしれないが、たいてい人は、仲間がいないと生きていけないのがふつうである。(1)はずれになって、周囲がすべて見知らぬ他人という状態は、耐えられるものではない。数時間、あるいは数日ならば、むしろひとりの開放感を味わえて楽しいかもしれないが、しばらくするうちに、だれか顔見知りはいないかと思ひ、それが見あたらないときにはこちらから親しい人をつくろうと努力するようになる。一時的な旅行のときなどに味わう開放感<sup>②</sup>は、これはやがて仲間<sup>①</sup>のところに帰れるという安心感が一方にあるからこそ感じるものなのである。

仲間は私たちの生活にとって欠かすことのできないたいせつなものである。しかし、いくら(2)がたいせつだといっても、それを理由に(3)のことを忘れてしまつては、かえって仲間から非難を受けるだろう。妻子を大事にしない仕事熱心な人は、同じ会社の仲間から良く思われないこともある。□(1)、身内のことしか考えないような人も、同じように仲間から嫌われることになるだろう。

仲間と身内の両方につきあっていかななくてはならない私たちは、そのバランスに



(a) クロウする。ときに身内は仲間をチェックする役割も果たしている。悪い遊び仲間ができて、遊んでばかりいると、( 4 ) からブレーキがかかる。昔は、「義絶」とか「勘当」とか言って、身内から縁を切られてしまうこともあった。「身をかためる」というのは、男が結婚して自分自身の妻子、つまり自分の家族をもつことを意味していた。社会生活が男を中心におこなわれていた時代の言葉である。中国古代の賢者たちは男が立派な仕事をしていくためには、「身をかためる」ことが前提の条件であった。今では女性についても「身をかためる」ことがあるだろうが、これはある程度、一般的な心理であろう。身内に心配なことがあっては、人は安心して仲間といっしょに仕事をすることもできないからだ。

では、( 5 ) がまず第一で、( 6 ) が二番目にたいせつかと言え、今日ではそうは言えない。「血は水より濃い」という言葉があるが、社会生活のなかで血縁関係が仲間にユウセンしているかどうかは、単純には判断できないのである。

問い1 文中の開放感、親しい、欠かすの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

問い2 文中のクロウ、ユウセンをそれぞれ漢字で書くようになりますか。適当なものA~Dから一つ選びなさい。

- |          |      |      |      |      |
|----------|------|------|------|------|
| (a) クロウ  | A 句勞 | B 苦勞 | C 句老 | D 苦老 |
| (b) ユウセン | A 憂先 | B 憂選 | C 優選 | D 優先 |

問い3 文中の( 1 ) ~ ( 6 ) には「仲間」か「身内」のどちらかが入ります。

- A: 「仲間」  
B: 「身内」

として、( 1 ) ~ ( 6 ) にAまたはBを入れなさい。

問い4 (1) に入るもっとも適切な言葉を次のA~Dの中から選びなさい。

- A だから      B もちろん      C むしろ      D つまり

問い5 「<sup>ち</sup>血は<sup>こ</sup>水より<sup>こ</sup>濃い」の<sup>ことば</sup>言葉の<sup>い</sup>意味の<sup>れい</sup>例として<sup>ただ</sup>正しいものを次のA～Dの中から一つ<sup>えら</sup>選びなさい。

- A <sup>とお</sup>遠くに<sup>しんせき</sup>住んでいる<sup>しんせき</sup>親戚よりも、<sup>ちか</sup>近くに<sup>たす</sup>住んでいる<sup>たす</sup>友人のほうが<sup>たす</sup>すぐに<sup>たす</sup>助けに<sup>たす</sup>来てくれるのでよい。
- B <sup>う</sup>生んで<sup>おや</sup>くれた<sup>おや</sup>親よりも<sup>そだ</sup>育てて<sup>おや</sup>くれた<sup>おや</sup>親のほうが<sup>おや</sup>たいせつである。
- C 私が<sup>なや</sup>悩んで<sup>こま</sup>困っていたとき、私の<sup>まこと</sup>本当の<sup>きもち</sup>気持ちを<sup>わか</sup>わかって<sup>くれた</sup>くれたのは、<sup>おや</sup>親よりも<sup>しんゆう</sup>親友のほうが<sup>おや</sup>だった。
- D <sup>びょうき</sup>病<sup>いっしょうけんめい</sup>気になった<sup>せわ</sup>私を<sup>せわ</sup>一生懸命、<sup>せわ</sup>世話を<sup>おや</sup>してくれたのは、<sup>おや</sup>他人ではなく<sup>おや</sup>私の<sup>りょうしん</sup>両親<sup>おや</sup>だった。